平成１９年度論文・報告等執筆一覧

[企画部]

・村上真幸・仙石新(2007)：世界測地系への円滑な移行，日本測地学会誌，第53巻第1号，1-12

・山中雅之・原野崇・丸山一司・髙瀬昌宏(2007)：平成19年（2007年）能登半島地震に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第113集，1-2

・村上広史(2008)：National Spatial Data Infrastructure Act,GIM international，Vol.22，Issue 2，15-17

・髙瀬昌宏・原野崇・丸山一司・山中雅之(2008)：平成19年(2007年）新潟県中越沖地震に関する国土地理院の対応，国土地理院時報，第114集，37-38

・村上広史(2008)：New Legislation on NSDI in Japan:“Basic Act on the Advancement of Utilizing Geospatial Information”(国土空間データ基盤に関する新法の制定:地理空間情報活用推進基本法)，国土地理院報告（欧文），第55巻，1-10

[測地部]

・田中愛幸(2007)：粘弾性による余効変動のモデリング，日本測地学会誌，第53巻，第1号，35-50

・雨宮秀雄(2007)：基準点の役割と今後のあり方，月刊測量，Vol.57，No.9，55

・雨貝知美・和田弘人・藤原みどり・鈴木啓・飛田幹男・矢来博司(2007)：衛星合成開口レーダーを用いた平成19年(2007年)能登半島地震に伴う地殻・地盤変動の検出，国土地理院時報，第113集，3-11

・瀬川秀樹(2007)：精密測地網高度基準点測量結果の総合解析，国土地理院時報，第113集，65-67

・石井敦利・市川隆一・久保木裕充・小山泰弘・高島和宏・藤咲淳一(2007)：Development of a compact VLBI system for a length examination of a reference baseline （基線場検定用の小型VLBIシステム開発），IVS NICT Technology Development Center News（国際VLBI事業 情報通信研究機構技術開発センターニュース），第28号，2-5

・宮崎清博・根本恵造(2008)：公共測量としての都市再生街区基本調査（土地活用促進調査），地図中心，424号，12-15

・津澤正晴・鈴木実(2008)：地理空間情報活用推進基本法と土地活用促進調査，地図中心，424号，16-19

・根本恵造・今給黎哲郎(2008)：能登半島地震・新潟県中越沖地震の地殻変動と街区基準点の改測・改算，地図中心，424号，20-23

・重松宏実・岩田悦郎・町田守人・和田弘人(2008)：Tsukuba VLBI Correlator（つくば VLBI 相関局），International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2007 Annual Report（国際 VLBI 事業 年報 2007年版），NASA/TP-2008-214162，102-105

・小門研亮・町田守人・栗原忍・松坂茂(2008)：Tsukuba 32-m VLBI Station(つくば 32mVLBI 観測局)，International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2007 Annual Report（国際VLBI事業 年報 2007年版），NASA/TP-2008-214162，151-154

・池田尚應・横川正憲・田上節雄・佐々木利行・塩谷俊治・大森秀一・根本盛行(2008)：平成19年(2007年）新潟県中越沖地震に伴う緊急現地調査（水準測量），国土地理院時報，第114集，39-45

・鈴木啓・雨貝知美・藤原みどり・和田弘人・飛田幹男・矢来博司(2008)：衛星合成開口レーダーを用いた平成19年(2007年)新潟県中越沖地震に伴う地殻変動の検出，国土地理院時報，第114集，47-53

・後藤清・田上節雄・徳留護・和田弘人・雨貝知美・岡村盛司(2008)：平成 19 年(2007 年)能登半島地震についての測地部の対応，国土地理院時報，第 115 集，1-9
・町田守人・近藤哲朗・小山泰弘・高野桂輔・農澤健太郎(2008)：K5 相関処理支援アプリケーション"PARNASSUS"の開発，国土地理院時報，第 115 集，11-24

[測図部]

・田村栄一(2007)：国土地理院の画像情報整備について，地図中心，422 号，17-19
・日谷仁英・三浦一彦・田崎昭男・中村孝之・浦部ぼくろう(2007)，平成 19 年（2007 年）能登半島地震に伴う測図部の災害対応，国土地理院時報，第 113 集，13-16
・古屋正樹(2008)：地形図の万年雪記号，地図中心，425 号，10-13
・大野裕幸(2008)：大規模地震に備えた被害把握・軽減のための技術開発～総合技術開発プロジェクト「高度な画像処理による減災を目指した国土の監視技術の開発」～，JACIC 情報，89 号，64-67
・林孝・三浦一彦・田中幸生・中村孝之・小井土今朝己(2008)：平成 19 年(2007 年) 新潟県中越沖地震に対する測図部の災害対応，国土地理院時報，第 114 集，55-59
・南秀和・稲葉和雄(2008)：第 9 回国連地名標準化会議報告，国土地理院時報，第 115 集，25-36
・田崎昭男・田村栄一・笹嶋英季・桶屋敏行(2008)：基盤地図情報（標高・オルソ）作成について，国土地理院時報，第 115 集，37-41
・藤井稔(2008)：画像データベースの構築について，国土地理院時報，第 115 集，43-48
・吉高神充・田村竜哉(2008)：デジタル航空カメラ等による空中写真撮影，国土地理院時報，第 115 集，49-57
・齋藤秀勝・宮地邦英・橘悠希子・中島最郎・田中宏明・浦部ぼくろう・大野裕幸(2008)：新地形図情報システム（NTIS）の改良，国土地理院時報，第 115 集，59-63

[地理調査部]

・関口辰夫(2007)：2007 年 3 月 25 日に発生した能登半島地震の災害，地すべり，Vol.44，No.1，57
・関口辰夫・木佐貫順一・野口高弘・佐藤宗一郎・太田正孝(2007)：平成 19 年（2007）能登半島地震に関する地理調査部の取り組み，国土地理院時報，第 113 集，17-26
・塩見和弘・北原敏夫(2007)：ALOS(AVNIR-2) 画像を利用した差分抽出による災害状況把握に関する調査，国土地理院時報，第 113 集，27-32
・小清水寛・坂部真一・安部雅俊・榧場新一・鵜生川太郎(2007)：「地球地図日本第 1.1 版」の提供について，国土地理院時報，第 113 集，69-74
・永山透・小清水寛・山田美隆・木村佳織(2007)：地球観測衛星データによる広域熱環境把握技術の開発作業，国土地理院時報，第 113 集，75-84
・田中宏明・瀬崎智之・永山透・杉原祐二・門脇利広・坂井尚登(2007)：「東京源流展」における国土地理院の取り組み，国土地理院時報，第 113 集，85-94
・田口益雄・野口高弘・高橋広典・北原敏夫(2007)：ハザードマップポータルサイトの構築について，国土地理院時報，第 113 集，95-99
・北原敏夫・丹羽俊二・関口辰夫・木佐貫順一・坂井尚登・野口高弘・佐藤宗一郎(2008)：平成 19 年（2007）新潟県中越沖地震に対する地理調査部の取り組み，国土地理院時報，第 114 集，61-74
・高木美穂・内川講二・小西博美(2008)：北陸地方の古地理に関する調査，国土地理院時報，第 115 集，

65-74
・沼田佳典・内川講二・長谷川望・渡邊哲也(2008)：宅地利用動向調査におけるデータ整備について，国土地理院時報，第115集，75-83
・鵜生川太郎(2008)：Develop and Applications of the Global Map　(地球地図の整備)，国土地理院報告（欧文），第55巻，11-20

[地理情報部]

・大野裕幸(2007)：Improved Digital Japan Framework Google Indipendent Govermental Web Map Information System(改良された電子国土構想､Googleに依存しない政府のウェブ地図情報システム)，International Cartographic Conference 2007（国際地図学会議2007），Theme12，Oral6，
・久松文男・飯田繁(2007)：平成19年（2007年）能登半島地震に対する地理情報部の取り組み，国土地理院時報，第113集，33-36
・久松文男・飯田繁(2008)：平成19年（2007年）新潟県中越沖地震に対する地理空間情報部の取り組み，国土地理院時報，第114集，75-77
・三橋一文(2008)：触地図原稿作成システムの開発，国土地理院時報，第115集，85-89
・志田忠広・西城祐輝・村岡清隆・安藤暁史・伊藤裕之(2008)：電子国土Webシステム API リファレンス(Ver1.0)，国土地理院時報，第115集，91-120

[測地観測センター]

・石本正芳・湯通堂亨(2007)：GEONETによる平成19年（2007年）能登半島地震に伴う地殻変動，国土地理院時報，第113集，37-39
・石本正芳・湯通堂亨(2008)：GEONETによる平成19年（2007年）新潟県中越沖地震に伴う地殻変動，国土地理院時報，第114集，79-81

[地理地殻活動研究センター]

・宗包浩志(2007)：Ocean mass variations from GRACE and tsunami gauges（重力観測衛星GRACEならびに津波計で計測した海洋質量について)，Journal of Geophysical Research（地球物理学雑誌)，Vol.112，B07403
・西村卓也・藤原智・村上亮・水藤尚・飛田幹男・矢来博司(2007)：福岡県西方沖地震に伴う地殻変動と断層モデル，月刊地球，332号，98-105
・小沢慎三郎・水藤尚・今給黎哲郎・村上亮(2007)：Spatiotemporal evolution of aseismic interplate slip between 1996 and 1998 and between 2002 and 2004，in Bungo channel，southwest Japan（豊後水道におけるゆっくり地震），Journal of Geophysical Research（地球物理学誌），112，B05409
・西村卓也・村上亮(2007)：水準測量データによる1930年伊東沖群発地震のダイク貫入モデル，火山，第3号，149-159
・飛田幹男(2007)：地球観測衛星「だいち」が観測した平成19年（2007年）能登半島地震の地殻変動分布と震源断層，サイスモ，第11巻，第7号，5
・佐藤浩・小荒井衛・宮坂聡・牧田肇・八木浩司(2007)：初夏の航空ハイパースペクトルセンサデータによる植生のマッピング，写真測量とリモートセンシング，Vol46，No.5，43-55
・佐藤浩・建石隆太郎・肖捷頴・岩橋純子(2007)：既存のプロジェクトによる土地利用／土地被覆分類デ

ータからのグランドトゥルースデータの抽出，地図，Vol.45，No.4，12-21
・宇根寛・佐藤浩・矢来博司(2007)：衛星合成開口レーダー画像で抽出された平成 19 年（2007 年）能登半島地震に伴う地形変化，国土地理院時報，第 113 集，41-48
・小澤慎三郎・矢来博司・飛田幹男・宇根寛・西村卓也(2007)：平成 19 年（2007 年)能登半島地震の震源断層モデル，国土地理院時報，第 113 集，49-54
・佐藤浩・宇根寛・宮原伐折羅(2007)：平成 19 年(2007 年）能登半島地震による斜面崩壊の地形的特徴の GIS 解析，国土地理院時報，第 113 集，55-64
・小荒井衛(2007)：韓国の GIS・ユビキタス施策と技術開発の動向，国土地理院時報，第 113 集，101-110
・小荒井衛・佐藤浩・神谷泉・新井場公徳・小山内信智・伊藤英之(2007)：レイテ島地すべり災害の地形的特徴，国土地理院時報，第 113 集，111-120
・佐藤浩・小荒井衛・岩橋純子・関口辰夫・八木浩司(2007)：白神山地・泊の平の地形発達と判読地形分類図と自動地形分類図の比較，国土地理院時報，第 113 集，121-134
・水藤尚(2007)：GEONET による想定東海地震の前兆すべりの検知の可能性，国土地理院時報，第 113 集，135-140
・西村卓也(2007)：平成 19 年新潟県中越沖地震の地殻変動と歪集中帯，日本地震学会広報誌なゐふる，64，
・小沢慎三郎・水藤尚・西村卓也・飛田幹男・宗包浩志(2007)：Possibility of recovery of slip deficit rate between the North American plate and the Pacific plate off Sanriku, northeast Japan（三陸沖のカップリング回復の可能性），Geophysical Research Letter，34， L20308
・小沢慎三郎・水藤尚・飛田幹男(2007)：Occurrence of anticipated slow slip off the east coast of the Boso peninsula, Central Japan（予期されていた房総半島スロースリップの発生），Earth Planets and Space，59，1241-1245
・岩橋純子・山岸宏光・神谷泉・佐藤浩(2008)：2004 年 7 月新潟豪雨と 10 月新潟県中越地震による斜面崩壊の判別分析，地すべり，Vol.45，No.1，1-12
・小荒井衛・佐藤浩(2008)：平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震による斜面崩壊，地質学雑誌，Vol.114，No.1，1-2
・佐藤浩・小荒井衛・江田敏幸・伊藤麻子(2008)：新宿御苑における樹林の航空レーザ測量データを用いた葉面積指数（LAI）のマッピング，写真測量とリモートセンシング，Vol.41，No.3，37-47
・宇根寛(2008)：電子国土と地球地図　―GIS 時代の国家地図作成機関の役割―(資料)，地学雑誌，Vol.117，No.2，384-400
・小荒井衛(2008)：地形分類図と DEM を活用した磐梯火山のハザードマップに関する地理情報解析(論説)，地学雑誌，Vol.117，No.2，439-454
・眞崎良光(2008)：Wind field differences between three meteorological reanalysis data sets detected by evaluating atmospheric excitation of Earth rotation（大気による地球回転の励起を評価することで検出された 3 種類の再解析データの風速場の相違），Journal of Geophysical Research（地球物理学雑誌），113，D0711C
・小荒井衛・佐藤浩・新井場公徳・小山内信智・伊藤英之(2008)：リモートセンシングで捉えたレイテ島岩屑なだれの地形的特徴，地すべり，Vol.45，No.2，14-25
・宇根寛・佐藤浩・矢来博司・飛田幹男(2008)：SAR 干渉画像を用いた能登半島地震及び中越沖地震に伴う地表変動の解析，地すべり，Vol.45，No.2，33-39
・佐藤浩・宇根寛・飛田幹男(2008)：2005 年パキスタン北部地震による斜面崩壊と地表変位の方位の関係

について，地すべり，Vol.45，No.2，40-44

・黒石裕樹(2008)：北西太平洋域におけるジオイドと重力場変動の衛星重力観測を用いた高精度決定手法開発，科学研究費補助金・基盤研究（C）　研究成果報告書

・小荒井衛・佐藤浩・長谷川裕之・宇根寛(2008)：平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震による地盤変状，国土地理院時報，第 114 集，81-90

・佐藤浩・小荒井衛・宇根寛・岩橋純子・宮原伐折羅・山岸宏光(2008)：平成 19 年（2007 年）新潟県中越沖地震による斜面崩壊の地形的特徴の GIS 解析，国土地理院時報，第 114 集，91-102

・Yuki Hatanaka(2008)：A Compression Format and Tools for GNSS Observation Data（GNSS データ圧縮プログラムの開発），国土地理院報告（欧文），第 55 巻，21-30

・神谷泉(2008)：Reduction of JPEG Noise from the ALOS PRISM Products（ALOS PRISM の画質の改善），国土地理院報告（欧文），第 55 巻，31-38

・宗包浩志・黒石裕樹・畑中雄樹・矢来博司(2008)：衛星測位システムシミュレータの開発，国土地理院時報，第 115 集，121-129

・佐藤浩(2008)：既存の土地被覆分類データ由来のグランドトゥルースデータを使った GlobCover データ分類精度の予備的評価，国土地理院時報，第 115 集，131-136

※執筆者、題名、論文名、発表項の順に掲載

注）この一覧は、国土地理院各部、各センター、各地方測量部、支所及び測地観測所に対する照会に基づき作成した。